

ラジオドラマ

【しーちゃんの船出】

(脚本・古川登志夫

24分)

登場人物

牧野善哉（まきの よしや）  
湊静子（みなと しずこ）

M (牧野の心象 C I 〉 B G M 〉 F O )

牧野

(M) 長年勤めた出版社がまさかの倒産！この歳になっての就活がどれだけ困難か予想はしていたが、これほどとは！来る日も来る日も職探し……あの日も俺は、大都会の摩天楼の足下に広がる、大きな公園の片隅のベンチに腰掛けて、名刺の束を手に、片っぱしから電話をかけまくっていた。

S E (春の朝、野鳥の声、クラクションなど街ノイズ)

牧野

……一応パソコンは扱えます……いや、ワードだけですけど……はい……いえ、独身です……いえ、一人暮らしです。……そうです……ああ、そうですね、有り難うございました。失礼します。

電話を切つてふと見ると、ホームレスらしきおばあちゃんが、箒とチリトリを持って、俺の座っているベンチの下を掃き掃除している。

M (牧野の心象 FO)

静子 足上げて?…座ったままでいいから、両足上げて!…はい、ありがとう!いいお天気ね。

牧野 俺のせいじゃないよ。

静子 この吸い殻はあなたのせいでしょ!?はい持って帰って。

牧野 汚いなあ!あっちへ行きなよ!

静子 あんた、私をホームレスかなんかだと思ってバカにしてんでしょ!

牧野 ……違うの?

静子 いや、そうだけどき、ハハハ。よく分かったわね!でもね、私は普通のホームレスじゃないのよ。ほら、ニオイ嗅いでみて!

牧野 さあて会社に遅刻しちゃう！またね、おばくちゃん！

静子 おばあちゃんではない！私はまだおばちゃんなの！ははは。まあ、もうちよつとつきあいなさいよ、どうせ行くところ無いんでしょ、会社、倒産しちゃったし。

牧野 え？

静子 あんたこのベンチに腰掛けてよく電話してるでしょ、全部聴こえちゃうのよ。そのの茂みの向こつただから私ん家。

牧野 盗み聞きかよ！家って、テント？

静子 いいえ、紙と木で出来た日本の家屋。ちよつと変わった形してるけどね。うち来る？

牧野 行かないよ。

静子 あら遠慮深い……そうだ、あんた、おなか空いてんでしょ！あんぱんあげる、はいこれ！賞味期限、二週間くらい前に切れてるけど。

牧野 要らないよ！

静子 大丈夫よ、おなかこわしてもすぐそこにトイレあるから……ハハハ……冗談よ！さっきそのビニコンでゲットしたの。

牧野 万引きしたの？

静子 そう、店員の目を盗んでササっと……コラ！人聞きの悪いこと言わないでよ。私、本とはね、お金持ちなのよ。車は外車だし、船だって持っているから。

牧野 あ、そ……

静子 ねえ、余計なことかもしれないけど、あんた背筋伸ばしたほうがいいわ、そして、深呼吸して、ニコッと笑ってみるの、するとね、世の中パーっ

と明るく見えて来るから、はい！牧野さん！ご一緒に〜！

牧野 　　なんで俺の名前知ってんの！

静子 　　だから言ったでしょ、電話よ！壁に耳あり、障子に目あり、便器の下に盗聴器ってね！毎日のようにこのベンチに座って、大きな声で「もしもし牧野ですが」って……下の名前はなんて言うの？

牧野 　　他人（ひと）に名前を訊く時は自分が先に名乗れよ。

静子 　　姓は湊、名は静子、覚え易いでしょ、静かな湊で、湊静子……で、あんなの下の名前は？

牧野 　　あるよ。

静子 　　言いたくなければ無理に訊かないわ、牧野善哉（よしや）さん！

牧野 　　知ってるし！

静子

「もしもし、牧野です、牧野善哉と申します。牧場の牧に、野原の野で牧野、善悪の善に志賀直哉の哉と書いて善哉です」いい名前よね、牧野善哉！ちよつと堅いけど！そうだ！まーちゃんにしない？牧野だから、まーちゃん！

牧野

まーちゃん？

静子

元気出さないよ、まーちゃん！今からいいことが起こるから。職を失った一人暮らしの独身男が、一本の電話をキツカケに明るい人生を取り戻す……ええ話やなあ。はい！いい電話よ、かかって来い！と。

SE (スマホの着信音)

静子

こないだの真田さんだな。

牧野

もしもし……ああ、真田？この間は有り難うね………うん………え、今から？……いじハローワークかなあ、なんて思っ………うん………え、今から？……い



やいや大丈夫だよ……すぐそっちへ行くよ！……ああ、あの喫茶店ね……  
…昼頃？……オツケー……ありがとう！……うん、のちほど！

静子  
いいことあったのね！

牧野  
ああ……あったあった！

静子  
じゃあ行った行った！ヤマト、発進く！！

牧野  
ヤマト？

静子  
仕事決まって良かったわね。

牧野  
まだ決まったわけじゃないよ。

静子  
決まるわよ！またねくく！

牧野  
もう会わないと思うけどね、元気でね、おばちゃん！バイバクイ！

PART  
2

静子

あ、ちよつとまーちゃん！……行っちゃった……又会うわよ……必ずこ  
こへ帰ってくるよ、手を振る人に笑顔で応え……ライター、ベンチに置  
きっぱなしだもの……フフ、結構そそっかしいわね、  
まーちゃん……

牧野

(M) 潰れた出版社で同僚だった真田は、うまいこと、すぐに似たよう  
な出版社に潜り込んだとかで、その会社の仕事を回してくれるという。  
今売れまくっている青木ケ原樹海潜入ルポのようなルポルタージュを、  
早急に一本やつつけてくれないか、とのことだった。渡りに船、もとも  
と雑文書き、しかも得手なジャンルだ。題材は「女ホームレス」。とっ  
さの思いつきだったが、真田は「それで行こう！」と、即断即決。拍子  
抜けするほど、あっさり当座の仕事が決った。今までの苦労は何だった  
んだ。条件も悪くない。勝算はある！一通りの話が済んで、ほっと一息、  
タバコに火を点けようとポケットを探ると、ライターが無い……

SE (同日午後。クラクションなど街ノイズ)

牧野

たしか、このベンチだったよなあ……

静子

やっぱり帰ってきた！はいコレ！預かっておいてあげたわ。

牧野

ああ、ありがと、よかった、このライターお気に入りです。

静子

……仕事、決まったのね。

牧野

え？ああ、まあね！……

静子

おめでとう、まーちゃん！

牧野

まーちゃんにされちゃったよ。

静子

あら気に入らなかった？

牧野 いや、いいよまーちゃんでもなんでも。……ところで、おばちゃんさあ、まるで占い師か予言者みたいだなあ。

静子 よく言われるわ。私には先のことなんでも分かるの。この公園でまーちゃんとお会いすることも、今日まーちゃんの就職が決まることも！そしてその会社が小さな出版社であることも……

牧野 わ、すげ！

静子 今から私が言うことは全部その通りになるわ、まず今日から私とまーちゃんのおつきあいが始まる……

牧野 へえ。

静子 あら、冗談じゃないのよ！そしてそのおつきあいはね、1ヶ月後に突然終局を迎える。

牧野　なんだいそりや。そういや、今朝俺と別れるとき「ヤマト発進く!!」  
て、言ってたよな!

静子　ええ、言ったわ。私大好きだったの、「宇宙戦艦ヤマト」ってアニメ!

牧野　え、おばちゃんが?

静子　若い頃「宇宙戦艦ヤマトファンクラブ」なんてのに入っちゃってさ。

牧野　ええ!俺も入ってたよ!ヤマト漬けてくくらい大好きでさ!…ヤマトね  
え…なにもかも懐かしいく俺も一時夢中になったなあ…

静子　一時って?今は?

牧野　アニメなんて…もう、全然観たくない。

静子　あら、ダメよ!なんで、どしてよ!

牧野 おばちゃん、アニオタなの？

静子 その前に船フェチ！あらゆる乗り物の中で船が一番好き！そこからヤマトにずるずると……あんたは？

牧野 そうね、地球滅亡まであと何日！地球を救うというあの堅固な使命感、犠牲的精神！に惹かれたのかな……

静子 それなのに、なんで卒業なの？理由は？

牧野 アニメには、リアリティーがない……

静子 たとえばどんなところ？

牧野 デスラーの顔の色とかさ

静子 きれいなブルーじゃないのよ！

牧野　　なんでデスラーの顔はあんなに青いのよ？

静　　子　　あんだ、肌の色で人を差別するのはよくないわ！

牧野　　どうして青いのか、説得力のある科学的理（ことわ）りがなきや、いくらアニメでもただの絵空事じゃね。

静　　子　　肌の色にこだわるなんて、アパルトヘイトだわ！

牧野　　ハハ、たかがアニメの話じゃない。

静　　子　　たかが？ダメだ、まーちゃん！夢が無さすぎ！ヤマトに戻りなさい！今すぐ戻りなさい！今夜レンタルビデオ店で「ヤマトよ永遠に」を借りて観なさい！これは艦長命令です！

牧野　　艦長、沖田十三ねえ、確かにかっこよかったなあ……

静　　子　　あんたまだ見込みあるわ！はい私が千円上げるから、レンタルビデオ店

へゴ―！

牧野 金ならおばちゃんより持つてるよ。

静子 そうかなそうかな？私はね……

牧野 世が世で有れば、いいとこのお姫様なのよ、か、ハハハ！

静子 やあねえ、誰も何も信用してくれない……

牧野 家は田園調布で……

静子 あら！どして分かったの？

牧野 車は外車……しかし訳あって、今はホームレス……それが本とだったら話は面白いんだけどねえ……

静子 本とだってば！



牧野 それよりおばちゃん！俺と茶飲み友達になつてくんない？

静子 あらまナンパ？嬉しい！いいねいいね、新たなるロマンスの始まり、春の目覚め！

牧野 違うって！あ、おばちゃんいい匂いすんね。

静子 パヒュームにすると百合って、きついんだけど、これ幽かに香る程度に調合されてて好きなの。田園調布に在ったお家のお庭には毎年同じ場所に白い百合がたくさん咲く場所があつてねえ。

牧野 在ったお家？今は？

静子 訳あつて、処分したのきれいさっぱり！

牧野 ……やっぱりね。おばちゃん、話、出来すぎ！

静子 あらま、疑い深い人ね！

牧野 で、友達とかはいるの？

静子 私はまだここに来て五ヶ月の新参者だけど、すぐお友達出来たわ。

牧野 女性？

静子 男性……ここでは女は私だけ。

牧野 へえ。友達ってどんな人？

静子 いろいろよくしてくれる、いい人よ。私のガードマン！酔っぱらいなん  
で、酒造ってあだ名付けてやったわ！

牧野 佐渡酒造かい？ハハなんでもヤマトか。

静子 本名なんか誰も言わないしわ、ここではさ。

牧野

……だろうねえ。

静子

ね、まーちゃん、今からウチにこない？すぐそのやぶの向こうつかただから。お茶くらい出すからさ。茶飲み友達！

牧野

いやいや……また今度ね……

(M) もう少し話を聞きたいところだが、二人で居るところに、その酒造さんとやらに踏み込まれても面倒だ。今日の所はこれくらいにしておこう。あまり性急にしても怪しまれる。与えられた時間は二ヶ月。写真をふんだんに散りばめた薄手のルポルタージュ一本仕上げるには充分な時間だ。焦ることはない。

(M) ファンタジックに C I ~ D N ~ B G M ~ F O

牧野 翌日の午後も、公園に行ってみた。

静子 ようこそ我が家へ〜！ジャ〜ン！

牧野 (M) おばちゃんが馴れた手つきでブルーシートを剥がすと、なんと児童公園なんか置いてある遊具の様な、丸っこい形のダンボールの船が姿を現した！いやベニヤか？よく出来ている。船体の側面に大きくヤマトと書いてある。ヤマトのタイトルロゴを真似たか……

わ、おばちゃんナニコレ〜！

静子 だから言ったでしょ、船も持ってるって！私のお家、宇宙戦艦ヤマトハウス！中、結構広いのよ、さ、入って入って！

牧野 うわ！これおばちゃん、自分で作ったの！

静子 まさか。酒造さんに作って貰ったの、元大工さんなんだって。器用なものよねえ。

牧野 中見せてもらっていい？失礼します……わ、骨格に樽木なんか使ってる！金具まで使ってるよ！金かかってんねえ。

静子 お金持ちだからホラ！ちゃんと工賃も払ったのよ。

牧野 花瓶に白い百合まで飾ってある……へく！いい香り。

静子 ほんものの百合よ。お茶淹れるわ

牧野 ああ、かまわないですよ……しかし、なんでも揃ってんねえ。

(M) カセットコンロでお湯も沸かせる。湯飲みも紙コップではなく、古代進と森雪の描かれたマグカップだ。

静子 はい、どうぞ。

牧野 おお、このマグカップ……

静子 家にあつたの持ってきたのよ、いいでしょ！……はい粗茶ですが……

牧野 有り難う。頂きます（一口啜って）いやあ、驚いたねえ……てか驚くことばかりだけど……あのね、おばちゃん、実はお金持ちで、公園の近くの駐車場まで外車でやってきて、一日ホームレスして帰る、通いのニセホームレスの人が居るって話聞いたことあんだけど、おばちゃん、もしかして……

静子 まさか！でもその話、酒造さんから聞いたことあるわ。お芝居やってる女優さんでね、酔っぱらってどこぞの公園のテント村に入ってきて、ホームレスの酒盛りに参加しちゃってさ、すっかり意気投合しちゃって、自分もやってみたいって言い出して、翌日から毎日の様に通ってきたんだって！

牧野　へえ〜！ほんとかね？よく受け入れられたねえ、みんなから。

静子　そうねえ。酒造さんも「前に居たテント村で聞いた話だが、酔っぱらいの言うこったから、話盛ってるにちげえねえ」って笑ってたけど。でも、一口にホームレスって言っても、多種多様ってのは確かねえ。

牧野　酒造さん、今日はどしてんの？

静子　さあね、人から干渉されんのが余り好きじゃないし、気まぐれな人だから。

牧野　その人もこんな凝った家に住んでるの？

静子　酒造さんはリアカーに寝泊まりしてんのよ。

牧野　へえ……ね、おばちゃん！俺と二人でいるとこ酒造さんに見られたらヤバいんじゃないの？

静子 ぜんっぜん！そんな人じゃないから。たぶん空き缶集めに遠くまで遠征してるのよ。暗くなれば自然に帰ってくるわよ。

牧野 へえ。しかし、手間暇かけてわざわざ船の形にねえ。普通、テントか、ダンボールで四角く囲ってガムテープで止めた程度でしょう。

静子 船が好きなもの。あ、まーちゃん、タベ「ヤマトよ永遠に」観た？

牧野 あ、忘れた！

静子 ……まーちゃん、あんた、なにか、大事なものを、ある時どこかに置き忘れて来ちゃったのかも知れないわねえ……ライターみたいに……

牧野 何か大事なもの？

静子 ね、まーちゃん、これ、なんだか分かる？

牧野 これ？オール？ボートを漕ぐ時のオールみたいに見えるけど？



静子

ピンポーン！酒造さんがね、この船のお家を作ってくれた時にプレゼントとしてくれたのよ。板を削って作ったオール。船にオールはつきもんだろって（酒造の口調を真似て）「人間が母の体内から生まれ出る瞬間てのは、荒海に小舟で漕ぎだすようなもんだ。だから人間は誰でも神様から貰った目に見えない一本の小さなオールを握って生まれてくるんだ。だけど、たいていの人は人生の途中でみんなそのオールをどこかに置き忘れてきちやうんだ」って…こんな話、今のまーちゃんには、何の興味もないわね

牧野

いや、おばちゃん、その話面白いね…

静子

じゃ、続き…「名前だって偶然じゃない。あんたはよく頑張って、人生の荒波を乗り越えてきた。だから人生の最後を迎えるに当たって、ちゃんと自分の見えないオールで漕いで、ここにたどり着いたんだ、静かな湊で安ろうために」って言ってたわ。

牧野

人生の最後を…：公園でねえ…酒造さんにも会ってみたくなくなったなあ。今日はこれで失礼するけど、そのうち紹介してよ。

静子　　いいわよいつでも。

牧野　　明後日辺りまた寄るよ……

静子　　あら、嬉しい！ねえ、まーちゃん、一つお願いがあるんだけど。

牧野　　なに？

静子　　私のこと、おばちゃんて呼ぶのやめてくれる？

牧野　　あそ、じゃなんて呼べばいい？

静子　　しーちゃん、静子だから、しーちゃん！

牧野　　了解！じゃまたね、しーちゃん！

静子　　あら、嬉しい！ちよつとまーちゃん、そうやって敬礼すると、どことなく古代進みたいでかっこいいわ。

PART  
4

牧野　　ハハ、じゃね！ヤマト発進！

静　子　今夜絶対観るのよ「ヤマトよ永遠に」、絶対よ〜！約束よ〜！

牧　野　　ああ、分かってるよ！

M（「宇宙戦艦ヤマト」CI〜DN〜BGM〜FO）

牧　野　　（M）その夜、二十年ぶりに、レンタルビデオ店でヤマトを借りて、観直してみた。部屋を暗くし、ヘッドフォンを頭にかけて……

ヤマトは、少しも古びていなかった！それどころか、初めてヤマトを観た時の様に感動し、涙を流している自分に、我ながら驚いた。そう、中学生だったあの頃のように。

不思議だ……あんなに気になっていたデスラーの顔の色も、気にならない。子供達だけじゃない！いい大人達が何故漫画やアニメに夢中になる！人々は虚心に、SF映画やドラマを楽しみ感動している。……久しぶりにヤマトが俺の元へ帰ってきた！船が空を飛ぶ！ヤマトよ永遠に！……どこかに……忘れてきた、オール……か……

M（「宇宙戦艦ヤマト」FO）

SE（同日午後。車のクラクションなど

牧野

（M）二、三日してまた公園に出かけてみると、しーちゃんはヤマトハウスで横になっていた。

牧野

しーちゃん、こんちわ〜！

静子

あら、まーちゃん、いらっしやい！とんでもないとこ見られちゃったわね。

牧野 昨日お茶ごちそうになったから、これお返し、あんぱん。

静子 あら、有り難う。嬉しいわ。

牧野 しーちゃん、なんだか顔色良くないね、デスラーほどじゃないけど。具合でも悪いの？

静子 なんだか朝から体がだるくってさ……でも平気、今コーヒー入れるわ。

M (低く、穏やかに優しく C I 〉 B G M 〉 F O )

牧野 しーちゃん、俺ね「ヤマトよ永遠に」観たよ！

静子 あら、ほんと！嬉しい！で、どうだった！

牧野 しーちゃん、有り難う。ヤマト……なんて言ったらいいかな、ヤマトねえ、帰ってきたよ、俺のところ！

静子　　でしよでしよ！なんて嬉しいんでしよ！有り難うまーちゃん！

牧野　　いや、お礼を言うのは俺の方だ。有り難う、しーちゃん……。

静子　　よかった！今日は見違えるほど明るい顔してるもの！まーちゃん！

牧野　　そう？しーちゃん、いろいろ訊いてもいい？

静子　　いいわ。

牧野　　ホントの話だけしてくれると有り難いんだけど……

静子　　分かった、全部ホントのこと話すけど。但し一ヶ月間は誰にも内緒よ。

牧野　　一ヶ月過ぎたら別の場所に行く気？

静子　　それも内緒……早く質問しなよ。

牧野

うん、そもそも、何でホームレスになったの？

静子

私の場合残された人生を自分の意志で好きな様に生きたい。クオリティ  
ーオブライフってやつよ……

牧野

難しい言葉知ってんね！親戚とかどうなってるの？

静子

いるわ。顔観ても分かんないような遠い親戚が少し。みんな経済的には  
恵まれてるけど、この世のことに窮々としてる。もつともあっちから見  
れば私は人間のくず。結婚はしないし、認知症、へそ曲がり、金の亡者、  
って、言われ放題。私、お金なんかどうでもいいのに。だから、長年世  
話になった家政婦さんともお別れし、家も財産も全て勝手に処分して、  
蒸発することにしたの。

牧野

へえ〜！小説みたいな話だね。

静子

地球滅亡まであと365日。私の滅亡まであと〇〇日！

牧野

え？

静子

私ね…死ぬためにここに来たの。心残り何も無し！

牧野

先長そうだけど……ついに住処が公園で、淋しくない？

静子

ない。そうねえ、死ぬ前にもう一度海を見たいかなあ。半年くらい前に見たのが最後だなあ、鎌倉の海に一人で出かけた事があったの……夜になるまでずっと海を見ていたわ。ゆうべ、酒造さんとそんな話をしてたら、お台場の海くらいならリアカーに乗っけて連れてってやれるけど今から行くか！なんて言っただけ……

牧野

ふうん、優しいねえ……酒造さん早く紹介してよ。

静子

よーし！今夜はまーちゃんのヤマト帰還祝賀パーティーやろ！ヤマトハウスで酒盛り！酒造さん帰ってきたら三人でさ！

牧野

(M) カップ酒とコンビニでゲットしたやきとり。三人の酒盛りは、そ



れなりに盛り上がった。酒造さんは、大男で一見強面だが、実際は柔和な人で、すぐにうち解けた。

この日を境に、しーちゃんと酒造さんと俺という奇妙なトライアングルヒューマンリレーションが、アップテンポに構築されていった。三人で一緒に過ごす時間も日に日に長くなり、親しみの度合いを増していった。一週間、二週間、三週間と日が経つ中で、何度か酒盛りをし、空き缶集めを手伝い、ヤマトハウスを修理した。そしてそれは、俺にとって、これまで味わったことのない、なんていうか、有る種、甘美で、不可思議な時間だった。

俺は、どこまでが本場でどこまでが嘘なのか判然とせぬ二人の与太話を整理しては、その裏を取るべく、あちこち取材を進め、真田に進捗状況を報告したりしていた。

(M) 低く、穏やかに優しく……FO

このヤマにかかって一ヶ月が過ぎようとしていた。

SE (街ノイズ)

牧野

(M) ある日、街中で、酒造さんに出くわした。リアカーを引く酒造さんの足取りがおかしい、具合でも悪いのだろうか？ いや、かなり酔っているようだった。

酒造さん、昼間からご機嫌だねえ。

(M) 酒造さんは怒ったような顔でチラツ！と俺を見た。そして次の瞬間、押し殺したような嗚咽と共に、両目から勢いよく涙があふれ出た。酒造さんは、胸のポケットからしわくちゃの封筒を取り出し、俺の胸にドンと押し当てた。「酒造さんとまーちゃんへ！」 達筆な、しーちゃんからの手紙だった。

M (おだやかなピアノ曲 F I ~ B G M ~ F O)

静子

酒造さん、まーちゃん、大変お世話になりました。楽しい時間をありが

とう。またいつか、お会いしましょうね。私は、潮が満ちてきたから船出します。一人で行くけど、私は何も淋しくはないわ。私の願いが叶うんですもの。

酒造さんには全てを話したけど、お医者様からあと半年くらいでしょうと、白血病の余命宣告を受けたあと、一人で鎌倉の海に出かけた事があったの。夜の鎌倉の海、月明かりでキラキラ光って、綺麗な海だった。

私は砂浜にひざまずいて神様をお願いしたの。私が死ぬ時、船で天国へ誘（いざな）ってくださいって。そしたらね、砂浜に置いてあった小船に、空からスーッと一条のまばゆい光が射し、その船がフワツと、空に舞い上がったの。嘘じゃないわ。そして天からの声が聴こえたの。

「お前がこの世を去る時、この船に乗って天国に行くだろう……」って。それから「お前の全財産を全て人に施しなさい」って……。だからその通りにしたわ。そしたら、まーちゃんと酒造さんに会えた。楽しい半年間だった……有り難う酒造さん……。そしてたった一ヶ月のおつきあいだったけど、有り難うまーちゃん。まーちゃんが、お仕事で私に近づい

牧  
野

てきたこと分かっていたけど、ちよつと嬉しかったわ、こんなおばあちやんの茶飲み友達になつてくれて。

酒造さんをお願い、酒造さんが造つてくれた小さなオールと、田園調布の家で撮つた写真のアルバムを、まーちゃんに上げて下さい。もしかしたらまーちゃんのお仕事の役に立つかも知れないから。それから酒造さん、ヤマトハウス、良かったら使つて下さい。リアカーで寝るよりずっと楽だと思うから。最後にもう一度……二人に、心からのありがとうを言わせて下さい。酒造さん、ありがとう……まーちゃん、ありがとう……しーちゃんより。

(M) 酒造さんは、多くを語ろうとしなかったが「船が迎えに来たんだ……」と呟き、天を見上げた。酒造さんは、しーちゃんの全てを知つていて、しーちゃんを世話し、看取り、見送つたのかもしれない。

リアカーには、折りたたんだヤマトハウスとオールが乗っていた。それから酒造さんと花屋に行き、白い百合の花を買い求め、公園に向かった。……ヤマトハウスの在つた場所に百合を置き、手を合わせた……

手紙は、アルバムに挟んで、ヤマトハウスに、オールと一緒に置いてあったという。俺はオールを手に取り一漕ぎしてみた。その瞬間、ふわっと、幽かに百合の香りが広がった。酒造さんはヤマトハウスの在った場所を見つめ「こんな狭い場所だったんだな……」と呟いた。

……船が空に浮くなんて、その船に乗って天国に行ったなんて、信じる者はいないだろう……アルツハイマーのホームレスの婆さんの世迷い言と笑うに違いない。救急車が来て、警察が来て、身元不明の無縁仏として葬ったんだ、と言う人もいるだろう……。

しかし、誰がなんと言おうと、俺は、いや酒造さんも、信じていた。しーちゃんは船で旅立ったのだと……

アルバムを開くと、最初のページに一枚の絵が貼り付けてあった。

俺は息を飲んだ！しーちゃんが話してくれた、あの場面！夜の海、逆巻く波の上に浮く小舟が描かれ、天空からまばゆい一条の光が射している絵だ！それは、油絵の個展を報せるハガキのようだった……

M (おだやかなピアノ曲 FO)

しーちゃんと初めて会ったあの日から、ちょうど、一ヶ月が経っていた  
……

M (エンディング CINSDNBGMUPFO)

ワクアナ

只今の出演……

牧野善哉 ( )、湊 静子 ( )、以上でお送り  
しました。

M (エンディング FO)

**TOTAL 24分**